

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料⑦

令和元年6月26日

経済産業部産業観光課

担当：今野・栗村

連絡先：022-358-0524

TOMI+（富谷市まちづくり産業交流プラザ）1周年記念事業

“宮城大学風見教授による基調講演×アイデアソン”の開催について

昨年7月にオープンした TOMI+（富谷市まちづくり産業交流プラザ）がこの度、1周年を迎えることとなりました。1周年を記念いたしまして、宮城大学理事・副学長の風見正三氏を講師にお迎えし基調講演をいただくとともに、アイデアソンイベントを開催いたします。多くの塾生で賑わう記念すべきイベントとなりますので、報道機関各位におかれましては、ぜひご取材いただきますようご案内申し上げます。

記

- ・日時 7月13日（土）13:00～17:30
- ・会場 富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）
- ・対象 富谷塾生
- ・内容 13:00 開会
13:10 基調講演 宮城大学 理事・副学長 風見正三氏（別紙参照）
14:30 アイデアソンイベント「富谷の未来をヨクスル」（別紙参照）
17:30 終了

※18:00 より富谷塾生交流会を開催します。



（富谷塾第2期生は、6月25日現在で90名となっております。）

<講師プロフィール>

風見 正三 Shozo Kazami

所属 事業構想学群

学位 博士（工学）東京工業大学 2007年
理学修士（都市地域計画学）ロンドン大学 1992年
経営学修士 ロンドン大学 1993年



学歴

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻
博士後期課程 修了

英国ロンドン大学政治経済大学院（L.S.E） 都市地域計画学修士課程 修了

英国ロンドン大学理工医学大学院（Imperial College） 経営学修士コース 修了

主な職歴

1984年4月 財団法人日本ダム協会研究部研究員

1987年4月 大成建設（株）開発本部

2005年4月 大成建設（株）設計本部まちづくり Gr グループリーダー

2008年4月 宮城大学事業構想学部 教授

2011年4月 宮城大学地域連携センター副センター長

2012年4月 宮城大学事業構想学部 副学部長

2016年4月 宮城大学事業構想学部 学部長

専門分野

地域計画、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス、社会的共通資本、持続可能な地域創造学

所属学会・社会活動等

日本計画行政学会常務理事・東北支部長、宮城県建築審査会長、みやぎ景観アドバイザー、仙台市市民協働まちづくり推進委員会委員長、大崎市都市計画審議会会長、大崎市総合計画審議会会長、大崎市中心市街地復興まちづくり計画策定委員会委員長、塩竈市海と社の景観審議会会長、亘理町総合計画審議会会長、加美町総合計画審議会会長、加美町政策アドバイザー、東松島市まちづくり市民委員会アドバイザー、東松島市森の学校推進アドバイザー、泉・大学地域ネットワーク幹事長、一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所代表理事、一般社団法人東松島市みらい都市機構顧問等。

主な著書・論文

- <著書> 「『田園都市への誘い』－ハワードの構想に発したその歴史と未来」 (彰国社、2001)
- <著書> 「テーマコミュニティの森－ヒューマンサイズの新しい都市」 (ぎょうせい、2002)
- <著書> 「緑地・公共空間と都市建築」 (日本建築学会、2006)
- <著書> 「コミュニティビジネス入門－地域市民の社会的事業」 (学芸出版社、2009)
- <著書> 「東日本大震災 復興への提言 持続可能な経済社会の構築」 (東京大学出版会、2011)
- <著書> 「持続可能性アセスメント－人口減少時代のプランニングシステム」 (学芸出版社、2015)
- <著書> 「新コモンズ論－幸せなコミュニティをつくる八つの実践」 (学芸出版社、2016)

研究内容

本研究室は、東北から日本の未来を発信するための持続可能な地域づくりの研究や実践を進めています。地域の真の豊かさを追求していくコミュニティビジネスの視点から持続可能な地域産業やライフスタイルの在り方を考察し、コモンズ社会の創造に取り組んでいます。特に、震災後は、大崎市の中心市街地復興まちづくりプランの策定や加美町、亶理町の総合計画の策定、東松島市の被災した小学校を「森と共に生きる・地域と共に生きる」というコンセプトに基づき「森の学校」として再建するプロジェクト等を進めています。21世紀は、地域の人々が主体となり、個人も地域も共に豊かになるシナリオを実現する時代です。本研究室は、こうした目標に向けて、コモンズの視点やコミュニティビジネスの手法から様々な地域で持続可能な地域創造プロジェクトを提案・実践し、地域主体のまちづくりによるサステイナブルコミュニティの実現を目指していきます。

富谷を盛り上げる

アイデアを出し合おう

参加費
無料



会場 TOMI+

参加者募集

富谷塾主催 アイデアソン

富谷の未来をヨクスル

1



2名のプレゼンターにご登壇いただき「富谷がよくなるためにこんなことをやりたい!」というテーマを5分で発表していただきます。

2



参加者のみなさんは発表を聞いて、グループに分かれて20分間でアイデアを出し合います。(アイデアの数は100個が目標!)

3



みんなの出したアイデアを発表します。「このアイデアをみんなで実現させよう!」と、仲間になることができます。

4



最後はみんなで交流します。アイデアの実現に向けてみんなで繋がり、富谷を盛り上げていきましょう!

2019年 7月 13日 土

費用：無料

※詳細は右記のQRコードより

時間

13:00~17:00 (開場 12:30)

会場

富谷市まちづくり産業交流プラザ

TOMI+

富谷市富谷新町9 5



<http://bit.ly/2Xbx0I1>

ヨクスル 富谷 7月13日





「とみやスイーツ」体験型メディアを通じて、関係人口を生み出す (株式会社バイツ 鈴木 英嗣さん)

住者を増やすための段階的アプローチとして、関係人口の創出は必須であるとともに、そのためのコンテンツとして、「とみやスイーツ」ブランドが有用かつ広がりがあると考えています。でも、「スイーツによるまちづくり」に関連するこれまでの取り組みが、オンライン上で効果的に発信・アーカイブされていない。その解決を目指して一緒にアイデアを考えましょう！



世界水準のIT教育を通して、子どもたちの未来と可能性を最大化したい (株式会社LX DESIGN 金谷 智さん)

仕事のほとんどがIT産業になると言われる産業革命において、生き方・仕事の選択肢を広げられる武器として“ITスキル”と“ものづくり体験”を授けたい。特に、東京以外では学校教育、習い事いずれにおいても上記の体験することは現状、難しい。機会格差を埋め、最適な機会と出会って才能を開花させていく子どもたちに、富谷市でもっと出会いたいと思っています。TOMI+から始めるムーブメントにぜひ富谷市の皆様のお力を貸してください！

当イベント「富谷の未来をヨクスル」について

富谷の未来をヨクスルは、「本気で富谷市を盛り上げたい！」と地域活性を考える情熱溢れる富谷市民がつながりを持ち、楽しみながらアイデアを創っていくエンターテイメントワークショップです。

「地域活性」というと、とても大変なことのように思えますが、富谷の未来をヨクスルが目指すのは、地域みなさんが繋がり、お互いのアイデアやスキルが掛け合わさり、地域が元気になっていくというものです。

地域がよくなるためにこんなことをしたい！というプレゼンターの「実現したい気持ち」と参加者のみなさんの「熱意を持ったアイデアとスキル」が地域を元気にしていきます。

主役は地域に住んでるみなさんたちです。一緒に地域を盛り上げませんか？あなたのご参加お待ちしております！

3月に開催したヨクスル参加者の声

初の参加でしたが、非常に感動しました。何かがこの場から生まれてくるというワクワクがありました。また参加したいと思います。

場が温まってからの時間がとても早かったです。新たな視点やアイデアが目から鱗でした。



<http://bit.ly/2Xbx0I1>

ヨクスル 富谷 7月13日

